

# 諫早市の人口フレーム（案）について

政策振興部 地方創生室

平成27年7月

## 人口増減の要因

1 自然増減（出生数と死亡数の差）

出生数 — 死亡数

2 社会増減（転入数と転出数の差）

転入数 — 転出数

# 人口推計に関する基準など

## 1 合計特殊出生率

※一人の女性が一生の間に生む子どもの数を試算したもの。

- ・合計特殊出生率(平成25年(2013年))

諫早市: 1.56

国: 1.43

- ・希望出生率(女性が希望する出生率)

諫早市: 2.2

国: 1.8

- ・人口を維持できる水準: 2.07

国は平成52年(2040年)に到達する目標

## 2 転入数と転出数(社会移動)

- ・社人研の人口推計を基準。
- ・転入を増やし、転出を減らすことで社会増減は改善。

## 3 国の長期人口ビジョン

- ・平成72年(2060年): 約1億200万人

(平成25年(2013年)1億2730万人との比較: 約2割減 )

# 人口推計の条件など

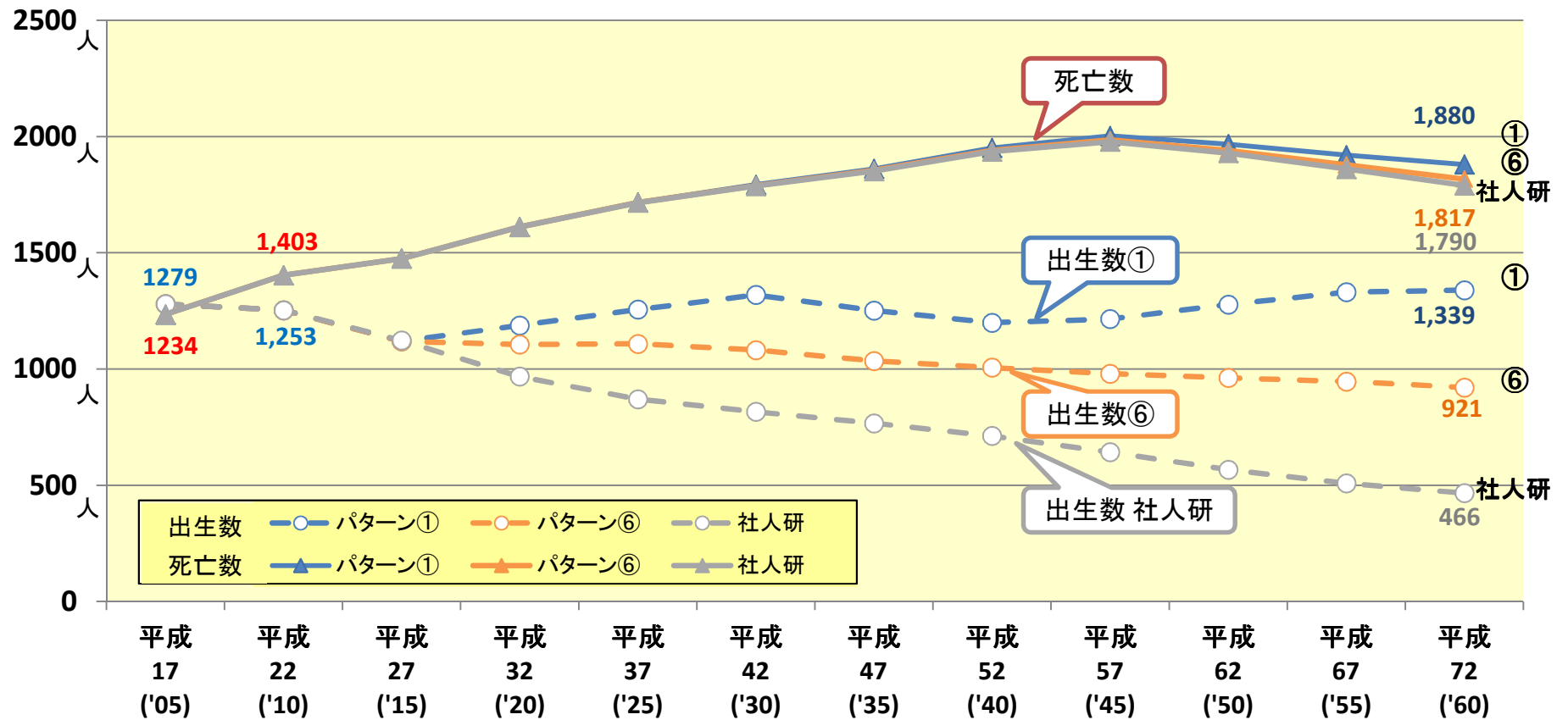
	合計特殊出生率		社会移動の改善		
	2. 07達成年		社人研試算を基準として、10年間 (2025年まで)で段階的にを改善 ※		
	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)	転入	転出	
		近隣以外		近隣市町	
パターン ①	○		+5%	△5%	△33%
パターン ②		○	+5%	△5%	△33%
パターン ③	○		+3%	△3%	△18%
パターン ④		○	+3%	△3%	△18%
パターン ⑤	○		+1%	△1%	△11%
パターン ⑥		○	+1%	△1%	△11%
社人研	1.45	1.45	—	—	—

※0～14歳、25～49歳の年代を改善。

15～24歳は近隣市町への転出のみ改善。

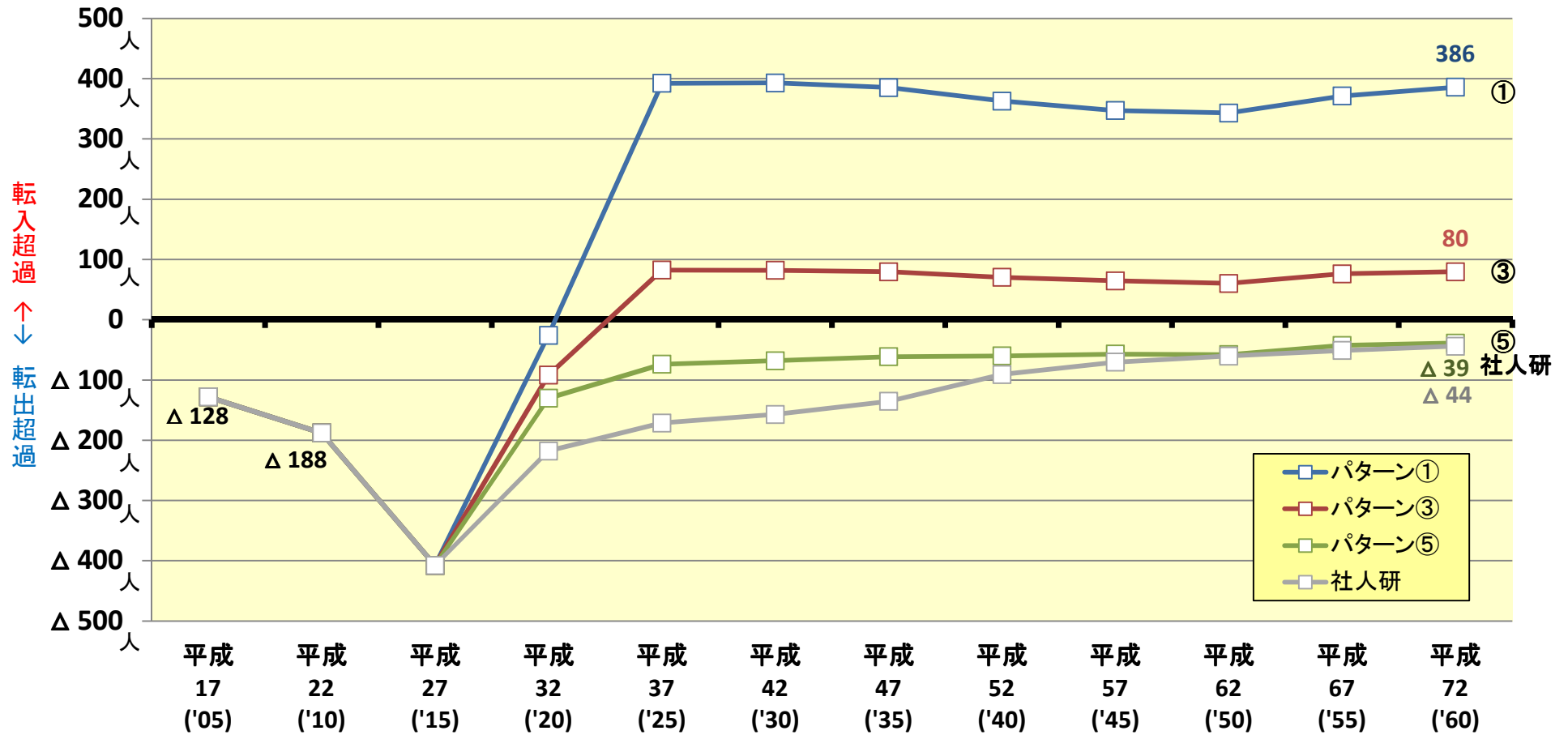
50歳以上は現状でも社会増減はほぼ均衡しているため、改善効果は見込まない。

# 出生数と死亡数の推移



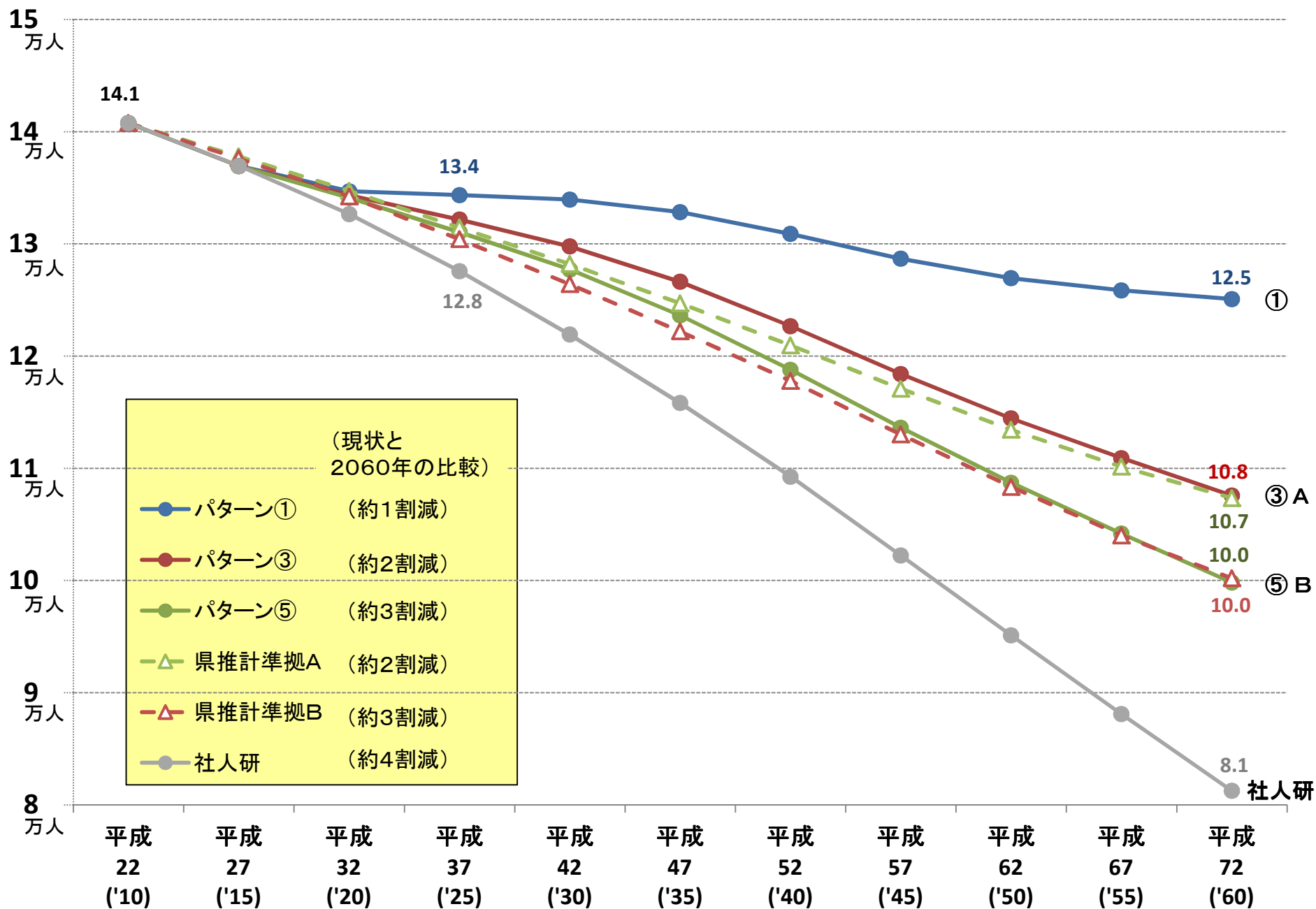
		平成 17 ( '05)	平成 22 ( '10)	平成 27 ( '15)	平成 32 ( '20)	平成 37 ( '25)	平成 42 ( '30)	平成 47 ( '35)	平成 52 ( '40)	平成 57 ( '45)	平成 62 ( '50)	平成 67 ( '55)	平成 72 ( '60)
出生数	パターン①	1,279人	1,253人	1,119人	1,187人	1,256人	1,319人	1,252人	1,199人	1,215人	1,277人	1,330人	1,339人
	パターン⑥	1,279人	1,253人	1,119人	1,105人	1,108人	1,081人	1,035人	1,006人	980人	962人	946人	921人
	社人研	1,279人	1,253人	1,123人	967人	870人	816人	766人	712人	642人	567人	508人	466人
死亡数	パターン①	1,234人	1,403人	1,475人	1,611人	1,717人	1,793人	1,861人	1,951人	2,003人	1,967人	1,920人	1,880人
	パターン⑥	1,234人	1,403人	1,475人	1,611人	1,716人	1,789人	1,855人	1,940人	1,986人	1,940人	1,878人	1,817人
	社人研	1,234人	1,403人	1,475人	1,611人	1,715人	1,787人	1,851人	1,935人	1,978人	1,929人	1,860人	1,790人
増減数	パターン①	45人	△ 150人	△ 356人	△ 424人	△ 461人	△ 474人	△ 609人	△ 752人	△ 788人	△ 690人	△ 589人	△ 541人
	パターン⑥	45人	△ 150人	△ 356人	△ 506人	△ 608人	△ 708人	△ 820人	△ 934人	△ 1,006人	△ 978人	△ 932人	△ 896人
	社人研	45人	△ 150人	△ 352人	△ 644人	△ 845人	△ 971人	△ 1,085人	△ 1,223人	△ 1,335人	△ 1,362人	△ 1,352人	△ 1,324人

# 社会増減(転入数－転出数)の推移



	平成17 ('05)	平成22 ('10)	平成27 ('15)	平成32 ('20)	平成37 ('25)	平成42 ('30)	平成47 ('35)	平成52 ('40)	平成57 ('45)	平成62 ('50)	平成67 ('55)	平成72 ('60)
パターン①	△128人	△188人	△408人	△26人	392人	393人	385人	363人	347人	343人	371人	386人
パターン③	△128人	△188人	△408人	△92人	82人	82人	80人	70人	65人	60人	76人	80人
パターン⑤	△128人	△188人	△408人	△130人	△74人	△68人	△61人	△60人	△57人	△58人	△43人	△39人
社人研	△128人	△188人	△408人	△218人	△171人	△157人	△135人	△91人	△70人	△60人	△51人	△44人

# 本市の人口の将来展望



# 諫早市の将来推計人口について

## 推計の条件など

	合計特殊出生率		社会移動の改善			2060年時点の人口			2060年時点の出生数(年間)			転入・転出 (2013年ベースでの試算)			
	2.07達成年		転入	転出		平成25年 (2013年)	2013年 との比較	平成25年 (2013年)	2013年 との比較	転入(年間)		転出(年間)			
	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)		近隣以外	近隣市町					増加数	計	減少数	計		
パターン①	○		+5%	△5%	△33%	125,084人	138,937人	△10%	1,339人	1,135人	18%	+143人	4,485人	△617人	4,357人
パターン②		○	+5%	△5%	△33%	121,704人	138,937人	△12%	1,251人	1,135人	10%	+143人	4,485人	△617人	4,357人
パターン③	○		+3%	△3%	△18%	107,564人	138,937人	△23%	1,090人	1,135人	△4%	+75人	4,417人	△328人	4,646人
パターン④		○	+3%	△3%	△18%	104,814人	138,937人	△25%	1,018人	1,135人	△10%	+75人	4,417人	△328人	4,646人
パターン⑤	○		+1%	△1%	△11%	99,823人	138,937人	△28%	985人	1,135人	△13%	+16人	4,358人	△206人	4,768人
パターン⑥		○	+1%	△1%	△11%	97,340人	138,937人	△30%	921人	1,135人	△19%	+16人	4,358人	△206人	4,768人
社人研	1.45	1.45	—	—	—	81,257人	138,937人	△42%	466人	1,135人	△59%	±0人	4,342人	±0人	4,974人

※0～14歳、25～49歳の年代を改善。  
15～24歳は近隣市町への転出のみ改善。  
50歳以上は現状でも社会増減はほぼ均衡しているため、改善効果は見込まない。

## 県推計を準拠した場合の条件など

	合計特殊出生率			社会移動(均衡)		2060年時点の人口			2060年時点の出生数(年間)		
	2.08 達成年	2.07 達成年	2.14 達成年	転入数と転出数が同数		平成25年 (2013年)	2013年 との比較	平成25年 (2013年)	2013年 との比較		
	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)		平成52年 (2040年)	平成72年 (2060年)						
県推計準拠A	○		○	○		107,339人	138,937人	△23%	1,139人	1,135人	0%
県推計準拠B		○			○	100,188人	138,937人	△28%	986人	1,135人	△13%

## (参考) 県推計人口の条件など

	合計特殊出生率			社会移動(均衡)		2060年時点の人口		
	2.08 達成年	2.07 達成年	2.14 達成年	転入数と転出数が同数		平成25年 (2013年)	2013年 との比較	
	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)		平成52年 (2040年)	平成72年 (2060年)			
県推計A	○		○	○		1,024,413人	1,396,461人	△27%
県推計B		○			○	960,502人	1,396,461人	△31%